

平成 27 年 2 月 13 日
文部科学省国際統括官付

ESDのさらなる推進に向けた取組（検討項目案）
（ESD世界会議フォローアップ）

ESDを広める（浸透させる）取組

- 学校教育におけるESDの浸透
 - ・ ESDを実践する学校数を拡充
 - ・ 教員研修、教材開発、モデル指導法等を検討
- ユネスコスクールが教育委員会、大学等とコンソーシアムを形成し、ユネスコスクール間の交流を促進（例：ESDコンソーシアム事業の拡充）
- 学校、社会教育施設、青少年施設等が実践する体験活動にESDの考え方を取り入れる等、学校教育外へのESDの浸透
- 若者のESD活動への参画促進とネットワーク構築（例：ユース・フォーラムの開催）

※ESDの理念を踏まえた学習指導要領の在り方については、中教審において検討。

ESDを深める（実践力を高める）取組

- 学校教育におけるESDの実践力の向上
 - ・ ユネスコスクール間での優良事例の共有、意見発信の場の構築（例：ユネスコスクール全国協議会の設立）
 - ・ リーダーとなる教員のための事業等の検討
 - ・ 国際理解教育・環境教育等との連携策等の検討
- ESD教育効果調査研究の実施（例：国立教育政策研究所が有するリソースの活用と調査研究事業との連携）
- ESD関係の企業、NPO等との連携強化（例：関係省庁実施事業との連携等）
- 大学によるESD活動支援の促進（例：ユネスコスクール支援大学間ネットワークの活用等）

ESDを国際的に浸透・充実させる取組

- ユネスコのGAP（グローバル・アクション・プログラム）に対応した国内実施計画等の策定と国際的発信
- 海外の学校・教員等の国際連携事業の実施（例：ユネスコ信託基金の活用）
- 国際的なユース能力開発・ネットワーク構築事業の実施（例：ユネスコ信託基金の活用）
- スウェーデン、ドイツ等のESD先進国との協調・連携方策の検討

【検討体制】

ユネスコ国内委員会（教育小委員会）において特別分科会を設置し、具体的フォローアップ計画案を検討。具体的には今後、初中局と共同して検討。

【スケジュール】 平成 27 年

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 2 月 | ユネスコ国内委員会における検討開始 |
| 4 月末 | ESDフォローアップ計画中間報告まとめ |
| 5 月 19-22 日 | 世界教育フォーラム（韓国、仁川） |
| 6 月 | ESDフォローアップ計画案を策定 |
| 11 月 10-25 日 | 第 38 回ユネスコ総会（フランス、パリ） |